

誇りに思える職場であるために

仕事と生活の調和を図りながら、社員一人ひとりが成長していくことは、「札幌ドーム」としての成長につながります。全社員が誇りに思える職場を目指し、環境の整備を図っています。



36P 社員全員が誇りに思える職場を目指しています



社員全員が誇りに思える職場を目指しています

お客さまに最高のホスピタリティをご提供するには、社員一人ひとりが日々成長するとともに、安心して働ける環境づくりが必要です。家族にも誇れる仕事・職場を目指し、取り組みを進めています。



社員研修など人材育成を図る制度を充実させています

入社年や役職に応じて段階的に実施する階層的な社員研修など、社員のスキルアップを図るための制度を充実させています。諸外国の優れたスポーツ施設やイベント施設などを視察し、運営方法やノウハウなどを学ぶ「海外視察研修」も実施しています。

VOICE

「海外視察研修」で今後への新たな視点が得られました

満員のお客さま・熱狂的なファン 特別な空間の3要素の重要性を体感

海外研修は立候補制で、毎年3人1組のチームを組み、自分たちでプランを立案し、会社の承認を得て研修を行います。私たちは、ベネフィットと収益をテーマにロンドンやニューヨークなどで視察をしてきました。ベネフィットとは、商品やサービスによって得られる本当の価値といった意味ですが、スポーツをはじめとするエンターテインメントにどんなベネフィットを求めて見ているのか、観客として大きな感動や楽しさを味わった瞬間、どんな作用が自分自身にあるのかを体感してきました。特に感激したのはサッカー・プレミアリーグ。アーセナルの本拠地なので、スタジアムを埋め尽くす約6万人の観客がアーセナルを応援していて、熱狂的な雰囲気圧倒されました。同じような興奮を得られたのがNFL（プロアメリカンフットボールリーグ）の試合で、満員の6万



8千人が大変な盛り上がりを見せていました。熱狂的な歓声や興奮の中に身を置くとムードに引き込まれ、またあの感覚を味わいたいという気持ちになり、

満員のお客さまと熱狂的なファンが重要なだと認識しました。また、劇場でミュージカルなども鑑賞し、世間とは隔てられた特別な空間の必要性も感じました。

経験は社内で共有し、各担当部署で何ができるかを日々考えています

収益に関わる面では、ニューヨーク・メッツの顧客管理システム、データを活用したサービス提供などについて関係者にヒアリングしたほか、米国のスポーツビジネスに詳しい大学教授によるレクチャー、世界的なネットワーク機器会社でスタジアムWi-Fiの現状と将来のビジョンなども聞きました。こうした経験を通して、今の担当部署では何ができるかを日々考える意識が高まりました。研修で得たものを社内で共有するための報告会では、「満員のお客さまと熱狂的なファン、特別な空間」をつくるための自分の考えや意見も盛り込みました。興味のあるテーマを追求できる価値の高い研修制度だと改めて思っています。



施設部 設備課 課長代理 松重 一正

ITを活用し業務を効率化

業務の効率化やコスト削減、セキュリティ強化などを目的に、ITの活用を積極的に進めています。2014年度は、館内店舗のPOSシステムや基幹業務システムの更新などを行い、さらに効率的に業務を進める体制を整備しました。



ワークライフバランスの推進

当社は、「札幌市ワーク・ライフ・バランス認証企業(ステップ2)」としてさまざまな取り組みを推進し、柔軟で効率的な勤務体制をとることで仕事と生活の調和を図る環境づくりなどを行っています。幅広い福利厚生メニューを提供し、社員が家族とランチサイズチームの試合を観戦する機会なども設けています。

